

人間学基礎セミナー I

科目ナンバリング SEM-201
【Ⅱ】 選択 2単位

森 玲奈

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、質的調査とは何かについて、および、調査技法の種類や概要を知ること为目标としています。特に、質的調査法の中でも、インタビュー法や観察法について学び、この手法を用いるとどのようなことができるか考えます。半期中で、データ取得計画・データ分析・調査報告までを体験し、大学卒業後の活動に役立つよう、実践的知識を身につけましょう。受講人数は最大20名とし、超えた場合は抽選を行います。初回ガイダンスの参加を必須とします。

2. 授業の到達目標

- ①学生は、質的調査法とは何かについて、体験を通じて学ぶ。
- ②学生は、インタビュー法や観察法の具体的な実践を行う。
- ③学生は、「人」と接点を持ちながら自ら「動きつつ」調査するために必要な留意点、心構え、スキルを習得する。
- ④質的データをどのように分析し報告することが可能かを知る。

3. 成績評価の方法および基準

- ①中間課題 50%
- ②最終課題(プレゼンテーション) 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

保坂 亨, 中澤 潤他 心理学マニュアル:面接法 北大路書房

5. 準備学修の内容

次回の授業のために課題が出ることがあります。

6. その他履修上の注意事項

予備知識を必要とするものではありませんが、皆さんの主体的な参与を期待しています。個人での課題の他に、ペアワークやグループワークを多く導入します。なお、受講生の興味関心により、授業で扱う内容及び順番を一部変更することがあります。これまでの学習経験を反映させながら、実践に役立つ調査法の学習を支援したいと考えています。受講生の興味関心により、授業で扱う内容及び順番を一部変更することがあります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス(受講にあたっての説明・質的調査法とは何か) |
| 【第2回】 | インタビュー法の概説と実習 |
| 【第3回】 | 質的調査法を使った研究事例紹介1(データ取得を中心に) |
| 【第4回】 | 質的調査法を使った研究事例紹介2(データ分析を中心に) |
| 【第5回】 | 観察法を用いたグループワーク1(データ取得) |
| 【第6回】 | 観察法を用いたグループワーク2(データ分析) |
| 【第7回】 | 観察法を用いたグループワーク3(分析結果の報告作成) |
| 【第8回】 | ゲストを招いての対話型プログラム |
| 【第9回】 | ゲストを招いての対話に関するふりかえり |
| 【第10回】 | 学外調査実習のための準備1(グループ分け・調査課題の検討) |
| 【第11回】 | 学外調査実習のための準備2(調査方法の検討) |
| 【第12回】 | 学外調査実習 |
| 【第13回】 | 学外調査実習の発表準備 |
| 【第14回】 | 学外調査実習の発表会 |
| 【第15回】 | 質的調査法の活用に向けてディスカッション |